

後発品のある先発品の効能追加事例

後発品が出た後も先発品企業は医療現場からの要請に応じて効能追加を行っている。

成分名	薬価基準 収載年月	追加効能 承認年月	追加効能
ウルソデオキシコール酸	昭和38年12月	平成11年6月	原発性胆汁性肝硬変における肝機能の改善
アマンタジン	昭和50年9月	平成10年11月	A型インフルエンザウイルス感染症
アルプロスタジルアル ファデクス	昭和54年9月	平成10年6月	経上腸間膜動脈性門脈造影における造影能の改善
トラニラスト	昭和57年8月	平成11年9月	ケロイド、肥厚性瘢痕
シロスタゾール	昭和63年4月	平成15年4月	脳梗塞発症後の再発抑制
カルベジロール	平成5年3月	平成14年10月	次の状態で、アンジオテンシン変換酵素阻害薬、利尿剤、ジギタリス製剤等の基礎治療を受けている患者： 虚血性心疾患または拡張型心筋症に基づく慢性心不全